

令和3年度

事業計画書

自 令和3年4月 1日
至 令和4年 3月 31日

I 一般概要

(令和2年度の景況と令和3年度の見通し)

令和2年度の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にある。経済の水準はコロナ前を下回った状態にとどまり、経済の回復は道半ばである。今後については、感染拡大の防止策を講じるなかで、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、内外の感染拡大による影響が国内経済を下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。この結果、令和2年度の国内総生産の実質成長率は▲5.2%程度、国民の景気実感に近い名目成長率は▲4.2%程度と見込まれている。また、消費者物価(総合)は▲0.6%程度と見込まれている。

令和2年次の新設住宅着工戸数は、持家は対前年比▲9.6%と昨年の増加から再びの減少、貸家は対前年比▲10.4%と3年連続の減少、分譲住宅は対前年比▲10.2%と6年ぶりの減少、と全体で対前年比▲9.9%減の81.5万戸となり、4年連続の減少となった。

令和3年度の経済見通しについては、総合経済対策を円滑かつ着実に実施すること等により、令和3年度の国内総生産の実質成長率は4.0%程度、名目成長率は4.4%程度と見込まれ、年度中には経済の水準がコロナ前の水準に回帰することが見込まれている。また、消費者物価(総合)は0.4%程度と緩やかに上昇することが見込まれている。

令和3年度の民間住宅投資については、住宅着工が感染症の影響による落ち込みから持ち直していく中で、対前年比1.8%程度増加すると見込まれている。

(本会の業務運営の状況)

令和3年度においては、上記の経済環境や木材産業を取り巻く景況等を踏まえ、次の事項に重点を置き円滑かつ効率的に事業を実施していく。

- ① 公益性の発揮を推進するため、公益目的事業であるJAS事業の普及と業務量の受注に努める。
- ② 安定的な収入の確保を図るため、収益事業である受託事業の一層の拡大を図る。
- ③ 業務の円滑かつ効率的な推進を図るため、業務の改善や職員間の業務連携の強化に努める。
- ④ 職員研修の実施、関係資格の取得等マンパワーの充実に努める。
- ⑤ 市場に流通するJAS製品の買い取り調査等を通じて、JAS制度の妥当性の検証に努める。
- ⑥ クリーンウッド法に基づく登録実施機関として、木材関連事業者の登録事務を推進する。

(4) 講習・研修会

認証の技術的基準に基づく、下記の講習・研修を行う。

- ・品質管理責任者講習会
- ・製品の板面の品質検査担当者選別研修会
- ・格付担当者格付講習会
- ・格付検査担当者技能研修会
- ・格付責任者格付講習会

講習・研修受講人数

種 類	令和3年度計画 人数(A)	令和2年度計画 人数(B)	対前年度比 (A)/(B)
合 板	102	115	89%
フ ロー リ ン グ	53	63	84%
集 成 材	81	113	72%
単 板 積 層 材	18	19	95%
構 造 用 パ ネ ル	0	0	—
枠組壁工法構造用たて継ぎ材	10	14	71%
直 交 集 成 板	11	7	157%
合 計	275	331	83%

(5) 認証業務収入

区 分		令和3年度 計 画 千円 (A)	令和2年度 計 画 千円 (B)	対前年度比 (A)/(B)
認証手数料	普 通 合 板	22,310	24,280	92%
	天 然 木 化 粧 合 板	21,810	22,330	98%
	単層フローリング	4,120	4,120	100%
	複合フローリング	12,810	13,760	93%
	集 成 材	53,480	54,540	98%
	単 板 積 層 材	6,640	7,450	89%
	構 造 用 パ ネ ル	570	570	100%
	枠組壁工法構造用たて継ぎ材	2,650	2,950	90%
	直 交 集 成 板	2,940	3,110	95%
	小 計	127,330	133,110	96%
その他手数料	製 品 検 査	8,500	8,890	96%
	出 張 手 数 料	16,680	18,100	92%
	講習・研修会手数料	5,960	6,990	85%
	証 明 手 数 料	0	0	—
	小 計	31,140	33,980	92%
合 計		158,470	167,090	95%

注) 認証手数料とは審査料、監査料、認証登録料、比較検査料の事である。

Ⅱ 事業別計画

1 JAS事業

認証計画は、新規申請として10工場を見込んでいる。

これらの認証申請工場及び既認証工場の変更申請に伴う審査、製品検査については、申請の内容を勘案して件数金額を設定した。

認証工場の監査等に伴う収入は、認証工場数を基にした計画とした。

講習・研修については、規格改正に伴う再講習受講者の増加も落ち着いたことから昨年度の86%とした。

また、格付のための検査は、工場数の減少によりで件数で前年度比92%、金額で前年度比95%とした。

(1) 新規工場の認証

区 分	令和3年度計画 (A)		令和2年度計画 (B)	
	工場数	うち海外	工場数	うち海外
普通合板	3	2	0	0
天然木化粧合板	0	0	0	0
単層フローリング	0	0	0	0
複合フローリング	0	0	0	0
集成材	6	3	3	0
単板積層材	1	1	0	0
構造用パネル	0	0	0	0
枠組壁工法構造用たて継ぎ材	0	0	0	0
直交集成板	0	0	1	0
合 計	10	6	4	0

注1：普通合板には、コンクリート型枠用合板及び構造用合板を含む。以下同じ。

注2：天然木化粧合板には、特殊加工化粧合板を含む。以下同じ。

(2) 認証審査に伴う製品検査

区 分	令和3年度計画 件数(A)	令和2年度計画 件数(B)
普通合板	19	27
天然木化粧合板	2	2
単層フローリング	0	0
複合フローリング	10	18
集成材	48	49
単板積層材	10	6
構造用パネル	0	0
枠組壁工法構造用たて継ぎ材	2	4
直交集成板	10	11
合 計	101	117

(3) 認証工場の監査

区 分	令和3年度計画 件数(A)	令和2年度計画 件数(B)	対前年度比 (A)/(B)
普通合板	64	70	91%
天然木化粧合板	76	78	97%
単層フローリング	13	13	100%
複合フローリング	43	45	96%
集成材	161	166	97%
単板積層材	21	23	91%
構造用パネル	2	2	100%
枠組壁工法構造用たて継ぎ材	8	8	100%
直交集成板	9	8	113%
合 計	397	413	96%

(6) 検査

検査件数

区 分	令和3年度計画 件数(A)	令和2年度計画 件数(B)	対前年度比 (A)/(B)
普通合板	1,150	1,410	82%
天然木化粧合板	820	890	92%
単層フローリング	180	180	100%
複合フローリング	980	1,030	95%
集成材	1,020	1,000	102%
単板積層材	190	230	83%
構造用パネル	0	0	—
枠組壁工法構造用たて継ぎ材	20	30	67%
直交集成板	70	70	100%
合 計	4,430	4,840	92%

検査収入

区 分		令和3年度 計 画 千円 (A)	令和2年度 計 画 千円 (B)	対前年度比 (A)/(B)
受託検査手数料	普 通 合 板	74,570	83,550	89%
	天 然 木 化 粧 合 板	34,400	35,790	96%
	単 層 フ ロ ー リ ン グ	7,610	8,080	94%
	複 合 フ ロ ー リ ン グ	31,430	32,330	97%
	集 成 材	122,190	123,210	99%
	単 板 積 層 材	17,540	19,040	92%
	構 造 用 パ ネ ル	1,490	1,490	100%
	枠組壁工法構造用たて継ぎ材	2,610	2,780	94%
	直 交 集 成 板	5,560	5,390	103%
	小 計	297,400	311,660	95%
その他手数料	出 張 手 数 料	32,560	35,180	93%
	証 明 手 数 料	230	230	100%
	小 計	32,790	35,410	93%
合 計		330,190	347,070	95%

(7) 調査研究事業

① 試験事業

- ア 研究室及び各検査所試験室の試験器具の充実を図ると共に、多様化する木質系製品の各種性能試験の受託に努める。
- イ 改正日本農林規格及び検査方法に係る審査基準の妥当性を検証する。

② 調査事業

- ア 市販されているJAS製品の買い取り調査を行い、品質の把握に努める。
- イ 登録認証機関として本会がJAS認証した製造工場が行うJAS格付数量を収集し、検査統計等を作成する。

③ 普及・宣伝事業

- 下記のJAS製品の認知度を高めるPRをはじめとして、関係省庁及び関係団体が主催するイベント等に参加するとともに、配布用PR資料の整備に努める。
- ア JAS制度及びJAS製品のPR資料を作成し、ユーザー等に提供する。
- イ ホームページ等にて、関連情報を充実し、ユーザー等に提供する。
- ウ JAS協会活動への協力
- エ 認証工場名簿を製作、冊子の発行、配布に加えホームページに掲載し、認証工場の異動状況により更新してホームページに掲載する。
- また、検査会だよりを発行し、直近の異動状況に掲載する。

④ 研修事業

- 認証審査・監査及び検査業務を的確に行うため、職員の研修を実施する。

2 受託事業

ホルムアルデヒド放散量試験等に係る受託は、件数及びその収入共に約5%減の計画とした。

また、優良木質建材等認証推進事業（AQ事業）に係わる受託は、次年度は受託の減少により件数で84%、収入で56%の計画とした。

クリーンウッド法登録事業においては、制度の周知は進んでいるものの、登録までつながないことから、問合せの件数等を勘案して、計画を策定した。

(1) 受託試験

受託件数

令和3年度計画 件(A)	令和2年度計画 件(B)	対前年度比 (A) / (B)
4,980	5,260	95%

受託収入

令和3年度計画 千円(A)	令和2年度計画 千円(B)	対前年度比 (A) / (B)
123,090	130,300	94%

(2) 優良木質建材等認証推進事業（AQ事業）

受託件数

令和3年度計画 件(A)	令和2年度計画 件(B)	対前年度比 (A) / (B)
37	44	84%

受託収入

令和3年度計画 千円(A)	令和2年度計画 千円(B)	対前年度比 (A) / (B)
4,710	8,380	56%

3 クリーンウッド法登録事業

登録件数

令和3年度計画 件(A)	令和2年度計画 件(B)	対前年度比 (A) / (B)
279	227	123%

注) 登録件数には新規登録件数、登録事項変更件数、年会費の件数を含む。

登録収入

令和3年度計画 千円(A)	令和2年度計画 千円(B)	対前年度比 (A) / (B)
3,000	3,870	78%

注) 登録収入には新規登録手数料、登録事項変更手数料、更新料、年会費を含む。

Ⅲ 総務関係

1 会議等開催計画表

会 議 の 名 称	開催予定回数	開 催 地
理 事 会	2	東京都
評 議 員 会	1	〃
JAS認証審査委員会・分科会	5	〃
所 長 会 議	3	〃
担 当 者 会 議	1	〃

2 試験機器等

(1) 購入計画（主要機械）

機 器 名	数量	備考
—	—	—

(2) 校正等計画

機 器 名	数量
引 張 り 試 験 機	11
曲 げ 試 験 機	22
分 光 光 度 計	8
ガ ス ク ロ マ ト グ ラ フ	0
高 速 液 体 ク ロ マ ト グ ラ フ	0
原 子 吸 光 光 度 計	1

3 人員構成表（令和3年度計画）

区 分	常勤役員	技術職員	事務職員	計
本 部	3 (2)	8 (8)	1	12 (10)
研 究 室		1 (1)		1 (1)
北海道検査所		4 (4)	1	5 (4)
東北検査所		5 (3)	1	6 (3)
東京検査所		5 (5)	1	6 (5)
名古屋検査所		6 (5)	1	7 (5)
大阪検査所		6 (5)	1	7 (5)
中国検査所		3 (3)	1	4 (3)
九州検査所		4 (4)	1	5 (4)
計(A)	3 (2)	42 (38)	8	53 (40)
R2.4.1現在(B)	3	42	8	53
増減(A)-(B)	0	0	0	0

注) () はJAS認証業務の資格を有する者（内数）